



# 議会からのたより

- ◆ 新型コロナウイルススワクチンの接種状況
- ◆ 遠別農業高等学校の国内研修
- ◆ 全日本少年春季軟式野球北海道予選会及び北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会の結果



## 行政報告

11月24日の1日間を会期として開催し、補正予算1件の議案が提案され、原案のとおり可決した。

## 第5回臨時会

### 議会の主な動き (令和3年11月～令和4年1月)

- 11月3日  
令和3年度遠別町表彰式に副議長外議員2名が出席
- 11月9日  
第6回議会全員協議会開催
- 11月25～27日  
町村議会議長全国大会出席のため議長東京都に出張
- 11月26日  
第4回議会運営委員会開催
- 11月29日～30日  
北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会及び北海道町村議会議長会理事会出席のため議長札幌市に出張
- 12月10日  
第7回議会全員協議会開催
- 1月9日  
令和4年遠別町成人式に議長出席
- 1月14日  
第1回議会報発行特別委員会開催
- 1月26日  
第2回議会報発行特別委員会開催

## 主な補正予算

【一般会計】

- ◆ 福祉灯油等購入助成金 420万円新規
- ◆ 特別養護老人ホーム友愛苑改修事業補助金 420万円削除



## 第6回定例会

12月10日から12月13日の4日間を会期として開催し、人権擁護委員候補者の推薦1件、条例の制定1件、条例改正1件、補正予算6件、意見案1件、発議2件の合計12件の議案が提案され、原案のとおり可決し、会期を3日残し閉会した。一般質問は、小森議員、山下議員が行った。

## 行政報告

- ◆ 波浪に伴う北里地区海岸浸食
- ◆ 遠別漁業協同組合からの寄附
- ◆ 令和4年遠別町新年交礼会の中止
- ◆ 令和3年度第一次産業の生産状況
- ◆ 令和3年度工事等の発注状況



## 審議事項

- ◆人権擁護委員候補者の推薦  
野村 裕二氏（本町6）推薦に賛成した
- ◆過疎地域における固定資産税の免除に関する条例の制定
- ◆国民健康保険条例の一部改正
- ◆議会会議規則の一部改正

## 主な補正予算

### 【一般会計】

- ◆児童手当システム改修業務委託料 77万円新規
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 466万円増
- ◆多面的機能支払交付金 152万9千円増
- ◆海水浴場監視・センターハウス管理清掃業務委託料 202万4千円削減
- ◆海水浴場養浜清掃業務委託料 96万8千円削減
- ◆えんべつ産業イベント事業補助金 90万円削減
- ◆遠別町ゆかりの地との交流事業補助金 182万円削除



### 【国民健康保険特別会計】

- ◆保険給付費等普通交付金返還金 2万7千円新規

### 【下水道特別会計】

- ◆消費税及び地方消費税 25万円増

## 意見案

- ◆加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書

提出者 山本議員  
賛成者 木村議員、白井議員

意見案は12月10日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。



## 町長からの行政報告（抜粋）



### 第6回定例会

### 令和3年度 工事等の発注状況

本年度の建設課所管各種工事と調査設計及び管理等の委託業務の11月末現在の発注状況についてご報告をいたします。工事及び委託業務の発注状況は、発注件数において工事が49件、委託業務が33件の併せて82件で、発注率は100%であり、発注額で申し上げますと、工事が4億3,330万円、除排雪業務などを含めた委託業務が2億2,290万円の合計6億5,620万円となっております。

今後とも工事の早期発注・工期の平準化に努め、国・道の発注時期を踏まえつつ、円滑に執行

してまいりたいと考えております。

また、道道名寄遠別線宇遠別トンネルの工事概要について留萌振興局留萌建設管理部より報告があり、本年10月に契約締結後、準備工に着手され、令和4年4月より令和5年4月までトンネルの掘削を行い、令和5年10月にトンネルの完成予定と伺っております。本路線は、産業、経済、医療、文化交流の発展など、地域活性化に大きな期待が持たれるものでありますので、今後とも、早期完成に向けて要請してまいりたいと考えております。



小森議員 **問** 中学校の建設場所及び環境に配慮した校舎を建設すべきでは？

笹川町長 **答** 道産材の活用、太陽光パネル等の活用を検討していきたい。

町政を問う

第6回定例会「一般質問」



**問**

遠別中学校新築について、遠別中学校校舎は、半世紀の歴史経過の中で、老朽化が激しく、生徒や教職員に良好な教育環境ではない。「遠別町教育施設長寿命化計画」で、令和4年度は基本設計、令和5年度は実施設計、令和6年度、7年度で新築工事が計画をされている。次の2点について伺う。

①校舎建設場所について、計画では現在の中学校用地及びその周辺用地となっているが、現在どのような形で協議を進めているか。また、協議の中で建設場所は確定しているか。

②ゼロカーボンの取り組みについて、国も道も2050年にCO<sub>2</sub>ゼロを目標にしている。建設後も50年以上供用するため

に、道産木材利用で、遠別町として特化した校舎建設を進め、ゼロカーボンに向かった、環境に配慮した校舎を建設するべきと考えるが町長の考えは？

**答**

(町長) ①遠別中学校校舎は、今年で建設より51年を迎え、約3,300人の卒業生を送り出した校舎は老朽化しており、子ども達のため、教育面、環境面を重視した校舎が必要と考えている。「遠別町教育施設長寿命化計画」に基づき、耐力調査を行い、新校舎建設に向け教育委員会で建設場所の検討をしている。

**答**

(教育長) ①校舎建設場所は、令和3年度学校運営協議会で、6月30日、8月26日に教育委員会で示した5か所の案で検討が行われ、生徒数の推移や災害時の避難のしやすさ、登校時の距離の問題、生徒が安心して学習できる視点から、現在の中学校周辺が一番良いので

はないかとの意見もあり、12月中に第3回目として、若葉町町内会代表を招き、さらなる検討を予定している。さらに、PTAを通じて情報を伝達し、意見聴取などを行い、町長に報告したい。

**答**

(町長) ②ゼロカーボンの取り組みは、内閣総理大臣から「2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする」との表明があり、本町も国が進める脱炭素社会に向けた政策を考えていく必要を感じているところであり、校舎建設にあたっては、道産材の利用、太陽光パネル等の活用により、ゼロカーボンに向けて検討していきたい。

**問**

①新しい中学校が、令和7年度に完成する時に、校舎に入ることになる現小学4年生以下の保護者の方々からの意見も協議会で伺える機会があるのか。

再質問

②中学校の建設を進めるにあたり、国としてゼロカーボンの事業等が起きると考えるが、それを踏まえ、令和4年度の基本設計を考えてはどうか？

**答**

(教育長) ①保護者の周知については、学校運営協議会の中には、校長、教頭、主任教諭、そしてPTA会長も入っている会議となっている。会議の中で協議した部分については、校内の会議の中でPTAが集まるときに情報を出していただき、意見があれば聞いて欲しいとお願いしている。

**答**

(町長) ②新しい校舎をゼロカーボンの考え方に則って建てるということについては、国もゼロカーボンに対して対応する予算措置、財政措置等はあると考えており、最大限の努力をし、財源確保していきたい。

小森議員 問 高齢者見守り携帯型貸与機器の更新と要綱見直しは？

笹川町長 答 新しいタイプへ更新を考えており、要綱見直しは現在考えていない。

**問**

高齢者見守りについて、平成12年より遠別町も介護保険事業を進めており、携帯型の見守り機器の貸与や、業務委託では、電話による安否確認サービスなどを高齢者が利用しているが、2点について伺う。  
③ 新型機器への更新について  
④ 利用や貸付けマニュアルの整備は？

**答**

(町長) 高齢者の見守りに関する事業としては、平成12年度より民間業者に委託している「緊急通報システム設置運用事業」と社会福祉協議会に委託している「電話訪問サービス」となっている。「緊急通報システム設置運用事業」で導入している端末については、自宅に据え付ける固定型と持ち歩ける携帯型端末があり、本人や家族が選択できるようにしている。携帯型端末についてはGPS機能がつかっており、こちらを選択する場合は緊急時に位置情報を検索する旨の承諾をいただいているから貸し出しをしている。  
③ 現在は3G対応で、新しいタイプへの更新を考えており、今

再質問

**問**

④ 実施要綱が定められているが、人権と尊厳の問題が出てくる。その中で、この事業を委託して実施することができるという条文もある。社会福祉協議会等受託業者が高齢者の方々に機器の取扱いの話を進めていけないのか。また、遠別町も平成25年に、高齢者の見守り活動に関する協定を地域団体と締結している。警察署、消防、また地域の農協をはじめ、この締結に臨んだ団体の意見も伺いながら、高齢者に対する要綱の整理をできるか。

**答**

(町長) お年寄りを見守るための各組織が集まって組織を作ったということは、私が

町長になってからの話であるが、それはそれぞれの郵便局だとか、運送会社だとかそういうところではそういうふうにしてると思うが、ただお年寄りの動きというか、町の中を動くとき全て把握できるかというところと可能に近い問題がある。家族だとか、いろいろな方々と協議をしながら進めて行かないと、ただ単に行政だけが先走っても、なかなかできうる問題ではないと思ってる。

④ 機器の更新で携帯電話の中にGPS機能が入っているのので、携帯電話を常に身につけてもらうということが、要綱や法令など用いなくてもできることなので、最優先かと思ってる。社協に委託という話したが、社協も、いろんな形の中で運営に協力していただいております。また、一面では、町としての社会福祉政策の先頭を走ってもらっている部署であり、もっともつと意思の疎通を

細やかにして、福祉課と社会福祉協議会、また福祉に関する団体との連携を密にして、さらに進めて行きたい。  
要綱の見直しについては、今の段階では考えていない。もう一度申し上げるが、家族の方々の理解だとか、そういったことがそういうお年寄りを無くすことにつながっていくと思ってる。あとは地域のフォローそれに尽きるところに思っている。



山下議員

**問** AI等を活用した各産業の推進と遠隔医療の取り組みは？

笹川町長

**答** 医療や産業に拘らず、AIを使えるような形を育てていきたい。



**問**

最近、SDGs(持続可能な開発目標)という言葉を見聞きする。2030年までに国際的な目標で、健康・福祉、経済、気候変動など17の目標を掲げ、誰一人取り残されない社会の実現に向けて、取り組むこととされている。また、内閣府では持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて、SDGsの理念に沿って進めることにより、政策全体の最適化、地域課題解決の加速化が期待でき、地方創生の取り組みの一層の充実・深化につなげることができると、地方創生SDGsを推進し、行政、民間事業者、市民等の連携、ICT・IoTの活用が重要であるとしている。本町の総合戦略には、2030年の人口は2千人前後と推計されていることから、持続可能なまちづくりのため地方創生SDGsを取り入れた政策

は必要と考える。SDGsの目標のうち「産業と技術革新の基盤をつくる」と、「住み続けられるまちづくり」とあるが、この2点について町長の見解を伺う。

**答**

SDGsは、2015年9月の国連サミットにて採択されたものであり、2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標となっており、発展途上国、先進国に限らず、全世界で達成に向けて取り組まなければならない目標であると理解している。本町においても、第2期遠別町総合戦略を基本にSDGsの目標達成に向けて、地方創生の推進を図りたいと考えている。「産業と技術革新の基盤をつくる」という目標に対しては、本町の基幹産業でもある農業において、ICTを活用したスマート農業の推進、さらには、雇用機会の確保に向けた取り組みなど、人口減少に歯止めをかけ、基幹産業が持続できるように支援・対策を進めていきたいと考えている。

「住み続けられるまちづくり」という目標に対しては、今後、人口減少の鈍化に向け、町内全域で利用可能な光回線を活用したコンパクトな市街地形成に心がけ、いつまでも遠別町に安心して住み続けられるようなまちづくりに取り組み、交通弱者対策など継続すべき事業を進めながら、協働のまちづくりを推進していきたいと考えている。

**再質問**

**問**

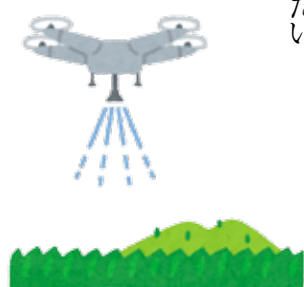
スマート農業の推進ということだが、本町の基幹産業にはほかに林業、漁業などがある。AIやドローンを使った、スマート林業、スマート漁業と言われているが、ほかの産業についても推進していくのか。また、コンパクトな市街地の形成ということだが、例えば町内の患者さんと都市部の病院をつないで診察するなどの遠隔医療も視野に入れた市街地形成という認識か。

**答**

スマート農業だけでなく、スマート漁業、スマート林業もあつて然るべきという考えだと思うが、同感である。ただ、今の状況でそういった気運や情報

がまだ入って来てない。例えば漁業については、AIを使って魚がどこにいるのか情報があれば、無駄な船の動きをしなくてもいい。林業についてもAIを使って、この木は一等材、この木は二等材というような選別は可能だと考えられる。そういった取り組みができるとすれば進めるべきだと思ってい

る。それから、遠隔医療そのものは私も賛成であるが、現在の病院では遠隔医療に結びつくようなシステムが組み上がっていない。現在、診療所建設の準備を進めているが、町民皆さんの健康を守るためにも、機器も含め、遠隔医療ができるような体制づくりもしていかなければいけない。医療や産業に拘らず、AIを使えるような形が生み育てられ、また情報として本町だけではなく、町外からも取り入れられるようにしていきたい。



## 第1回臨時会

1月14日の1日間を会期として開催し、補正予算1件の議案が提案され、原案のとおり可決した。

### 行政報告

- ◆企業版ふるさと納税
- ◆北里地区海岸浸食における復旧状況
- ◆新型コロナウイルススワクチンの3回目接種
- ◆民間賃貸住宅建設助成事業の進捗状況

### 主な補正予算

【一般会計】

- ◆住民税非課税世帯等臨時特別給付金システム導入業務委託料 88万円新規
- ◆住民税非課税世帯等臨時特別給付金 4,000万円新規
- ◆子育て世帯臨時特別給付金システム導入業務委託料 82万5千円新規
- ◆子育て世帯臨時特別給付金 3,150万円新規
- ◆北海道線道路災害応急工事 1,100万円新規

## 第1回臨時会

### 企業版ふるさと納税

12月27日、株式会社アドウェイズ（代表取締役社長山田翔さん）から、当社の代表取締役が生まれ育った遠別町に対し、感謝とお礼の意を込めまして、2,000万円の企業版ふるさと納税がありました。遠別町の地域再生計画に基づきまして、当町の振興・発展に向けた事業へ有効に活用していきたいと考えておりますので、ご厚志に感謝いたしますと共に、ご報告とさせていただきます。



## 町長からの行政報告（抜粋）

### 北里地区海岸浸食における復旧状況

12月定例会におきまして、令和3年12月1日、2日の波浪による北里海岸浸食についてご報告したところでありましたが、現時点の状況について再度ご報告をいたします。北海道において、12月13日に農林水産省災害査定官及び北海道財務局災害立会官と協議を行い、12月17日に北海道農政部及び留萌振興局産業振興部の職員が現地を確認した結果、南側においては災害復旧事業として申請し、応急工事を行うとの報告がありました。なお、応急工事については、1月6日から20日までの期間で実施され、本復旧工事は2月1日に災害査定を受け認定されると、4月以降に着手予定と報告を受けております。また、北側の区間においては、以前より浸食が進行しておりますが、今回の風浪災害によるものであるとの実証が困難で災害復旧事業に

認定されませんでした。令和4年度より海岸保全整備事業による対策を検討すると聞いております。北海道として復旧計画の方向が決まりましたので、道路保全のため町が行う北海道線道路災害応急工事の実施については、北海道と協議をし、応急工事の工程に合わせ着工に向けて調整をしているところでございます。そのほか、留萌振興局建設管理部に対しましても、これから行われる遠別川河口掘削工事で発生する土砂について、浸食が進行している箇所について、浸食が進行して頂くよう要請を行ってまいります。引き続き海岸状況を把握しながら、関係機関と連携し、保全に努めて参りたいと考えております。



町長からの行政報告（抜粋）

新型コロナウイルス  
ワクチンの3回目接種

新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、国から3回目接種についての方針が定められているところであります。

本町の18歳以上の対象者2,009名のうち、先行して医療関係従事者を12月27日から実施し、1月27日までの接種予定となっております。

また、2回目接種から6か月以上経過となる前倒し接種対象の友愛苑入居者と従事者、国保病院の入院患者につきましては、1月下旬からの接種を予定し、同じく7か月以上経過となる65歳以上の高齢者につきましては、2月上旬から順次接種を開始する予定となっております。

64歳以下の方につきましては、2回目接種から8か月以上を経過している方から順次接種を開始する予定となっておりますが、ワクチンの種類につきま

しては、納入及び使用期限の都合上、当面の間、ファイザー製のワクチンを使用ということになります。国からは、3回目の接種につきましては、2回目の種類に関わらず、ファイザー製またはモデルナ製を使用するとなっておりますので、一定数を接種したあとは、どちらかのワクチンが供給され、接種することになるかというふうに考えております。

今後につきましては、ワクチンの供給に合わせ、速やかに円滑な接種の開始に向けて準備・調整を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

民間賃貸住宅建設  
助成事業の進捗状況

今年度、遠別町字幸和、旧中学校職員住宅跡地に建設中の民間賃貸住宅について、先般、株式会社ハスコムから進捗状況についての報告がありました。

当初の予定では、昨年12月末

までに完成予定でありましたが、給湯設備の納入が新型コロナウイルスの影響を受け、メーカーから「部品の調達が難しく、生産見込みが立たない状況となっている。」との報告があり、現在、完成の見込みが立たない状況であると相談を受けております。

町といたしましても、年度内に完成するよう努力をしていただきたい旨の要望はいたしましたが、事故繰越も視野に入れ、引き続き株式会社ハスコムと調整している状況であることをご報告を申し上げます。



建設中の民間賃貸住宅

えんべつ町民独占インタビューにつきましては、今号休載させていただきます。



議員出席状況

令和3年11月1日～令和4年1月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等				特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤									
	開催 日 数 ①	出席内容			出席 日 数 計 ②	欠席内容			総務 産業 ③	文教 厚生 ①	議 会 運 営 ②	全 員 協 議 会 ②	議 会 報 発 行 ②	決 算 審 査	予 算 審 査	開 催 日 数 合 計 ①+ ③ ⑤		出 席 日 数 合 計 ②+ ④ ⑥	欠 席 日 数 合 計							
		全 日 出 席	遅 刻	早 退		慶 弔	病 欠	そ の 他												出席内容				欠席内容		
																				全 日 出 席 ④	遅 刻	早 退	出 席 計 ④	慶 弔	病 欠	そ の 他
西畑 広男	3	3			3				2	2			2			5	5		100.0%							
小森 嘉孝	3	3			3				5	5			5			8	8		100.0%							
白井 金治	3	3			3				4	4			4			7	7		100.0%							
柏谷 美春	3	3			3				3	3			3			6	6		100.0%							
木村 秀雄	3	3			3				2	2			2			5	5		100.0%							
千葉 光悦	3	2			2		1		2	2			2			5	4	1	80.0%							
大石 幸夫	3	3			3				2	2			2			5	5		100.0%							
山下 悟	3	3			3				4	4			4			7	7		100.0%							
山本 仁美	3	3			3				3	3			3			6	6		100.0%							

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**3月7日頃**の開催予定です。

詳しくはテレビ電話でご確認ください。

【お問い合わせ】

議会事務局

電話 7-2147 (直通)

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp



発行：遠別町議会  
編集：議会報発行特別委員会  
委員長 小森 嘉孝  
副委員長 山下 悟  
委員 白井 金治

### あしがき (山下副委員長)

年末年始が大雪となり雪かきや屋根の雪下ろしから始める年となりました。雪かき、雪下ろしなどの除雪作業での怪我、事故のないよう十分注意して行ってください。

雪の多い年は農作物の豊作が期待できると聞きますが、コロナを吹き飛ばすくらい豊作を期待します。

本年も議会広報委員が一丸となって、編集に取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

